

中国選手権 岡山大ヨット部総合V 10月全国大会、入賞目指す

[ツイート](#)

岡山大のヨット部が9月8、9日、広島市の広島観音マリーナで開かれた「中国学生ヨット選手権大会」の団体戦で、二つの種目を制し、総合優勝を果たした。10月31日から愛知県で開かれる全国大会への出場が決まり、創部以来初の入賞を目指し、部員一同練習に汗を流している。

大会は3枚の帆を持つ全長4.7メートルの艇で競う「470級」と、2枚の帆を持つ小型艇による「スナイプ級」の競技を実施。両種目とも6大学から3艇ずつ出場し、各艇の順位による合計点で争った。

470級は農学部4年高橋美歩さん（21）、教育学部4年則友開路さん（21）ペアが優勝し、残り2艇は3、4位に入った。スナイプ級は経済学部4年山地賢悟さん（21）、教育学部3年渡辺佳穂さん（20）ペアが2位で、残り2艇は4位と5位だった。

同部は2016、17年、団体戦で全国大会出場を逃したほか、両種目で出場した14年も総合順位で最下位になるなど成績は低迷。17年9月、強豪校で知られる関西学院大OBや全国大会優勝経験がある社会人をコーチに招き、月2回指導を受けながら、基礎動作の徹底やスタート技術などを磨き、中国大会に臨んだ。

「第83回全日本学生ヨット選手権大会」は10月31日から11月4日、愛知県で開催され、470級とスナイプ級の団体戦に出場する。さらなるレベルアップを図ろうと、瀬戸内市の牛窓ヨットハーバーで週末に合宿を行い、練習を続けている。

同部は今年で創部76年。主将で工学部4年杉立真太郎さん（21）は「この1年間、全日本で勝つために頑張ってきた。目標は総合で入賞以上。43人の部員全員で新たな歴史をつくりたい」と話している。

(2018年09月24日 18時12分 更新)

カテゴリ：岡山市 主要 地域の話



全国大会に向け練習に励む岡山大のヨット部員